

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（ 津山東 ）中学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

| | | | |
|----------------|--|--|--|
| 津山市 達成目標 | これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み | 算数・数学AB・・・根拠を明確にして説明をするような問題を苦手としている。 国語AB・・・文章標記では、決められた分量にまとめることができない生徒の割合が高くなっている。 | |
| | 学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法） | 進捗状況 | 3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標） |
| 市全 体の 取組 | <ul style="list-style-type: none"> ○「問題データベース」を活用し、問題プリントに自主的に取り組める環境をつくる。 ○「問題データベース」を活用し、繰り返し練習ができるよう、朝学習、放課後、授業中に位置づけて教科、学年で取り組む。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が自主的に行うが、放課後質問ができる体制をつくるなど、教師も積極的にサポートする。 ○答え合わせは、個人にまかせるだけにせず、授業や質問教室で解説などを行い、補強していく。 |
| ① | 全校統一テストを行い、基礎学力の定着を図る。わかる、できる経験を通して、やる気や自己肯定感をもてるようにする。 | C | <ul style="list-style-type: none"> ○全校統一テストを行い、個人と学級それぞれの目標を設定し、目標点を目指して取り組む。（学期各1回） ○繰り返し練習を行い、できる問題を増やしていく。 |
| ② | シラバスを十分に活用し、家庭学習について生徒への啓発を行うとともに、保護者へも協力を求めていく。 | C | <ul style="list-style-type: none"> ○OPTAとも協力して、家庭学習を見直すプロジェクトを進める。小中連携でブロックの小学校とも期間を合わせて行う。（年5回） ○通信を通して繰り返し、家庭学習の重要性を伝えていく。 |
| ③ | 学校生活や行事の中で感想を書いたり、授業の中で振り返りの機会を設けたりすることで「書く」習慣をつけていく。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ○授業や学級活動の場面でペアやグループ活動などを通じて、話し合い活動などで、自分の考えを他の人に説明したり表現する場面を取り入れた授業作りを工夫する。（80%以上） ○文章表記の問題で無回答率を減らす（10%以下） |

※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」
 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」

【別紙様式】